

平成28年度八王子市立中学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 社会（公民的分野）（1/2枚目）  
 社会(公民)部会 部長(福山 隆彦)

発行者名 調査の観点	東京書籍	教育出版	清水書院	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社
1 内容 (1)発達段階に即している (2)興味・関心を引き出す配慮 (3)本市の学力の実態へ配慮	(1)・発達段階に即している。 (2)・学習内容に即したイラストや写真・図を多用し、日常生活と関連付けることで興味・関心を引き出している。 ・キャラクターの吹き出しで資料を読み取る視点が示されており、生徒の興味・関心を高めている。 ・全体的に色使いも豊富である。 (3)・思考・判断・表現力、資料活用能力を高める工夫がされている。	(1)・発達段階に即している。 (2)・学習内容に即したイラストや写真・図を多用し、全体的に色使いも豊富である。 ・キャラクターに学習の進行役をさせ、日常生活と関連付けた資料にイラストを多用して、生徒の興味・関心を引き出している。 (3)・思考・判断・表現力、資料活用能力を高める工夫がされている。	(1)・発達段階に即している。 (2)・学習内容に即したイラストや写真・図が用いられており、色使いははやや抑え目である。 ・キャラクターに補助的な解説や学習課題を提示させている。 ・写真やイラストは日常生活と関連付けており、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。 (3)・思考・判断・表現力、資料活用能力を高める工夫がされている。	(1)・発達段階に即している。 (2)・学習内容に即したイラストや写真・図を多用し、全体的に色使いも豊富である。 ・ページ初めの「クローズアップ」で実社会の事例が紹介され興味・関心を引き出す工夫がされている。 ・挿絵や特設ページから興味・関心を引き出す工夫がされている。 (3)・思考・判断・表現力、資料活用能力を高める工夫がされている。	(1)・発達段階に即している。 (2)・学習内容に即したイラストや写真・図を多用し、全体的に色使いも豊富である。導入資料の写真や様々な図、コラム等から、学習内容に興味・関心がもてるように工夫してある。 ・キャラクターに学習の進行役をさせ、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。 (3)・思考・判断・表現力、資料活用能力を高める工夫がされている。	(1)・発達段階に即している。 (2)・学習内容に即したイラストや写真・図を使用し、色使いははやや抑え目である。 ・特設ページやミニ知識からその章の内容に興味・関心がもてるように工夫してある。 ・キャラクターに学習の進行役をさせ、ねらいを明確にし、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。 (3)・思考・判断・表現力、資料活用能力を高める工夫がされている。	(1)・発達段階に即している。 (2)・学習内容に即したイラストや写真・図を多用し、全体的に色使いも豊富である。 ・キャラクターに学習の進行役をさせ、ねらいを明確にし、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされている。 (3)・思考・判断・表現力、資料活用能力を高める工夫がされている。
2 構成及び分量 (1)内容の組織配列、発展的記述 (2)発達段階に配慮した分量 (3)基本事項の押さえと補充教材 (4)発展教材への配慮	(1)・政治から経済への流れである。 (2)・分量的に適量である。 (3)・学習のまとめとして、章(大項目)ごとに学習内容と重要語句が整理してあり、発展的な学習課題も提示されている。 ・1単位時間ごとに「確認」コーナーがあり、基本事項をおさえられる。 ・巻末に現代史年表、憲法及び法令集、用語解説集及び側注欄に用語解説が載っている。 (4)・「公民にチャレンジ」「深めよう」等の特設ページを設け、発展的な学習につなげている。	(1)・政治から経済への流れである。 (2)・分量的に適量である。 (3)・学習のまとめとして、章(大項目)ごとに学習内容と重要語句が整理してあり、発展的な学習課題も提示されている。 ・1単位時間ごとに「ふりかえる」があり、基本事項をおさえられる。 ・巻頭に現代史年表、巻末に憲法及び法令集、用語解説集及び側注欄に用語解説が載っている。 (4)・「読んで深く考えよう」「言葉で伝え合おう」の特設ページを設け、発展学習につなげている。	(1)・政治から経済への流れである。 (2)・分量的に適量である。 (3)・学習のまとめとして、編(大項目)ごとに学習内容と重要語句が整理してあり、発展的な学習課題も提示されている。 ・巻末に現代史年表、憲法及び法令集があり、側注欄に用語解説が載っている。 (4)・「深める公民」「もっと知りたい公民」等の特設ページを設け、発展学習につなげている。	(1)・政治から経済への流れである。 (2)・分量的に適量である。 (3)・学習のまとめとして、章(大項目)ごとに学習内容と重要語句が整理してあり、発展的な学習課題も提示されている。 ・1単位時間ごとに「確認しよう」があり、基本事項をおさえられる。 ・巻末に現代史年表、憲法及び法令集があり、側注欄に用語解説が載っている。 (4)・「トライアル公民」「技能をみがく」等の特設ページを設け、発展学習につなげている。	(1)・政治から経済への流れである。 (2)・分量的に適量である。 (3)・学習のまとめとして、編(大項目)ごとに重要語句が整理してあり、発展的な学習課題も提示されている。 ・1単位時間ごとに「学習の確認と活用」があり、基本事項をおさえられる。 ・巻頭に現代史年表、巻末に憲法及び法令集、用語解説集及び側注欄に用語解説が載っている。 (4)・「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」「明日に向かって」等の特設ページを設け、発展的な学習につなげている。	(1)・政治から経済への流れである。 (2)・分量的に適量である。 (3)・学習のまとめとして、章(大項目)ごとに重要語句が整理してあり、発展的な学習課題も提示されている。 ・巻末に憲法及び法令集はあるが、現代史年表と用語解説は設けられていない。 ・補充教材は「ミニ知識」に見られる。 (4)・特設ページ「もっと知りたい」を設け、発展的な学習につなげている。	(1)・政治から経済への流れである。 (2)・分量的に適量である。 (3)・学習のまとめとして、章(大項目)ごとに重要語句が整理してあり、発展的な学習課題も提示されている。 ・1単位時間ごとに「鉛筆マーク」があり、基本事項をおさえられる。 ・第一章中に現代史年表、巻末に憲法及び法令集があり、側注欄に用語解説が載っている。 (4)・特設ページ「理解を深めよう」「考えよう」「やってみよう」を設け、発展的な学習につなげている。
3 表記及び表現 (1)生徒にとって読みやすい表現 (2)印刷、写真等の見やすさ	(1)・敬体表記で、文章表現は平易で理解しやすい。 ・教科書の判型はAB版で大きい。 (2)・印刷は鮮明で、文字や写真・資料も見やすい。	(1)・敬体表記で、文章表現は平易で理解しやすい。 ・教科書の判型はAB版で大きい。 (2)・印刷は鮮明で、文字や写真・資料も見やすい。	(1)・常体表記で、文章表現は平易で理解しやすい。 ・教科書の判型はB5版である。 (2)・印刷は鮮明で、文字や資料も見やすい。 ・写真は小さい。	(1)・敬体表記で、文章表現は平易で理解しやすい。 ・教科書の判型はAB版で大きい。 (2)・印刷は鮮明で、文字や写真・資料も見やすい。	(1)・敬体表記で、文章表現は平易で理解しやすい。 ・教科書の判型はAB版で大きい。 (2)・印刷は鮮明で、文字や写真・資料も見やすい。	(1)・敬体表記で、文章表現は平易で理解しやすい。 ・教科書の判型はB5版である。 (2)・印刷は鮮明で、文字や資料も見やすい。写真は小さい。	(1)・敬体表記で、文章表現は平易で理解しやすい。 ・教科書の判型はAB版で大きい。 (2)・印刷は鮮明で、文字や写真・資料も見やすい。
4 使用上の便宜 (1)全体の構成が見渡せるよう配慮 (2)課題発見、解決に向けた学習が効果的に進められる配慮 (3)印刷、装丁への配慮 (4)地域性への配慮	(1)・2ページ見開き構成である。 ・全体の構成は見渡せる。 (2)・豊富な資料、討論や作業を中心とした学習課題、身近な事例、「確認」や「公民にアクセス」から課題発見・解決に向けた学習が進められる。 ・単元ごとには様々な学習課題が多数提示されている。 (3)・大項目(章)ごとに色分けされている。 (4)・特筆すべきことはない。	(1)・2ページ見開き構成である。 ・全体の構成は見渡せる。 (2)・事例に基づいた資料、各単元ごとの「ふりかえる」から課題発見・解決に向けた学習が進められる。 ・単元ごとには様々な学習課題が多数提示されている。 (3)・大項目(章)ごとに色分けされている。 (4)・特筆すべきことはない。	(1)・2ページ見開き構成である。 ・全体の構成は見渡せる。 (2)・各編(大項目)の始めて著名人の写真と言行録を使用し、学習内容を示している。 ・編末の「学習のまとめ」は課題発見・解決に活用できる。 ・単元ごとには様々な学習課題が多数提示されている。 (3)・大項目(編)ごとに色分けされている。 (4)・特筆すべきことはない。	(1)・2ページ見開き構成である。 ・全体の構成は見渡せる。 (2)・豊富な資料、各単元の「確認しよう」、各章末の「学習をふりかえろう」、「技能をみがく」から課題発見・解決の学習が進められる。 (3)・大項目(章)ごとに色分けされており、ページの指がかかる部分に「国政」「地方自治」のように学習内容の見出しがタグのように示されている。 (4)・特筆すべきことはない。	(1)・2ページ見開き構成である。 ・全体の構成は見渡せる。 (2)・事例に基づいた写真、各単元の「学習の確認と活用」、「チャレンジ公民」から課題発見・解決に向けた学習を進めることができる。 (3)・大項目(編)ごとに色分けされており、ページの指がかかる部分に「政治」「経済」のように学習内容の見出しがタグのように示されている。 (4)・特筆すべきことはない。	(1)・2ページ見開き構成である。 ・全体の構成は見渡せる。 (2)・各章の終わりに「学習のまとめと発展」が課題発見・解決に向けた学習として活用できる。 (3)・大項目(章)ごとに色分けされている。 (4)・特筆すべきことはない。	(1)・2ページ見開き構成である。 ・全体の構成は見渡せる。 (2)・章の初めの「入り口」、「やってみよう」「考えよう」で課題発見・解決に向けた学習を進めることができる。 ・単元ごとには様々な学習課題が多数提示されている。 (3)・大項目(章)ごとに色分けされている。 (4)・特筆すべきことはない。

平成28年度八王子市立中学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 社会（公民的分野）（2/2枚目）  
 社会(公民)部会 部長(福山 隆彦)

調査の観点	発行者名	東京書籍	教育出版	清水書院	帝国書院	日本文教出版	自由社	育鵬社
5 重点調査項目 (1) 言語活動の取扱い		<ul style="list-style-type: none"> <li>・章の初めの「やってみよう」、「公民にチャレンジ」で多数の言語活動を取り上げている。</li> <li>・言語活動の具体的な内容としてディベートや模擬選挙、模擬裁判、お店経営などがあげられており、生徒の身近な題材をテーマにした課題が示されている。</li> <li>・進め方について、順を追って説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉で伝えあおう」の特設ページを設け、情報リテラシーやディベート、プレゼンテーション、ポスターセッション、レポートなどの方法、企画についてまとめられている。</li> <li>・それぞれのテーマも生徒の身近な課題で設定されており、「さらにステップアップ」として発展学習も充実している。</li> <li>・「ふりかえる」「読み解こう」も表現力を高めるための言語活動として活用できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「深める公民」や「もっと知りたい公民」などの内容から、言語活動に活用させることができる。「卒業論文を書いてみよう」では、取材や論文作成まで見開き2ページで説明している。</li> <li>・「風船マーク」で話し合いの視点を示したり、キャラクターの「まとめてみましょう」「どんなちがいがあんだらう」などの吹き出しから言語活動につなげたりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・討論・模擬裁判・レポート作成については具体的な方法が提供されている。</li> <li>・1単位時間ごとに言語活動に関する課題が示されている。</li> <li>・「技能をみがく」「トライアル公民」や「未来に向けて」では、より具体的に言語活動やグループワークの方法を示し、学習を通してより発展的に当事者としての課題解決に向けての方法を考えさせる内容となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「チャレンジ公民」「情報スキルアップ」「明日に向かって」などの特設ページの中で討論やプレゼンテーション、レポート作成の方法について分かりやすく提示している。</li> <li>・1時間単位ごとに言語活動に関する課題が提示されており、言語活動コーナーとして各キャラクターが問題提起をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各章末には「学習のまとめと発展」としてテーマを選び、400字でまとめさせる課題が示されている。</li> <li>・「課題の探求」において、スピーチやプレゼンテーションについて取り上げている。</li> <li>・ディベートの進め方を「ディベート・フローシート」「ディベートの実践例」の具体例を載せて説明している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめの「入り口」、「やってみよう」、章末の「学習のまとめ」には、言語活動に関する課題が設けられている。</li> <li>・討論やプレゼンテーション、レポート作成の方法について、生徒の身近な課題を取り上げ、提示している。</li> <li>・1時間単位ごとに言語活動に関する課題が提示されている。</li> </ul>
(2) 現代社会における具体的な事実(事件)や課題の取扱い ① 我が国の位置と領土について ② オリンピック・パラリンピックの扱い ③ その他(自然災害・防災、環境問題等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>①位置と領土については、「第5章地球社会と私たち」、公民にアクセス「日本の領土をめぐる問題の現状」として見開き2ページ、「国際社会における国家」などで扱われている。</li> <li>②オリンピック・パラリンピックについては、東京オリンピック(1964年)、オリンピックの表彰式(2014年)が扱われている。</li> <li>③防災、地球環境問題、日本のエネルギー政策、拉致問題等が取り扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①位置と領土については、「第6章国際社会に生きる私たち」、「日本の領土をめぐる問題」で深く考えよう～日本の外交のいまで扱われている。</li> <li>②オリンピック・パラリンピックについては、「互いに尊重し合う国家」でオリンピックの表彰式を扱っている。</li> <li>③防災、地球環境問題、資源とエネルギー、拉致問題等が取り扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①位置と領土については、「第3編国際社会を生きる」「国際政治のしくみ」の中のコラム「日本の領土問題」として扱われている。</li> <li>②オリンピック・パラリンピックについては、特に扱われていない。</li> <li>③地球環境問題、エネルギー問題、拉致問題等が取り扱われている。防災における関係機関の役割等については扱われていないが、東日本大震災は扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①位置と領土については、「第4部領土をめぐる問題」として見開き2ページで扱われている。</li> <li>②オリンピック・パラリンピックについては、オリンピック・パラリンピック(ロンドン)の写真、東京オリンピック開会式(1964年)の写真、「私たちと国際社会」においてオリンピックが与える国民の国家意識についてまとめられている。</li> <li>③防災、地球環境問題、エネルギー問題、拉致問題等が取り扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①位置と領土については「第4編国家と国際社会」で扱われている。</li> <li>②オリンピック・パラリンピックについては、「公民の出会い」でオリンピックの聖火(2014年)、東京オリンピック(1964年)の写真で取り扱われている。</li> <li>③防災、地球環境問題、エネルギー問題、拉致問題等が取り扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①位置と領土については、「第5章国家と国際関係」及び特設ページ「もっと知りたい」の「わが国の領土に関する問題」として見開き2ページ、巻末の「わが国の領域」で扱われている。</li> <li>②オリンピック・パラリンピックについては、「考えよう」で「1964年と2020年東京オリンピック、パラリンピックの時代」として見開き2ページで取り扱われている。</li> <li>③防災、地球環境問題、エネルギー問題、拉致問題等が見開き2ページで取り扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①位置と領土については「第5章国家と国際社会」で見開き2ページ、「国家とは何か」において「日本の領土をめぐる問題」で扱われている。</li> <li>②オリンピック・パラリンピックについては、「考えよう」で「1964年と2020年東京オリンピック、パラリンピックの時代」として見開き2ページで取り扱われている。</li> <li>③防災、地球環境問題、エネルギー問題、拉致問題等が見開き2ページで取り扱われている。</li> </ul>